

なぜ？「EV 墓場」(中国)

カーシェアリング事業の衰退：中国ではカーシェアリング事業が一時期流行しましたが、より便利なネットタクシーの登場により利用客が減少し、多くの電気自動車 (EV) が放置されるようになりました。

気候条件の影響：厳しい冬の気象条件下では、走行距離に限られる EV は敬遠されがちで、特に中国北部での大寒波の際には、EV の販売台数が大幅に減少しました。

補助金制度による乱立：中国政府は EV の普及を奨励するために補助金制度を設けており、その結果、EV 関連のサービスを展開する会社が乱立しました。しかし、これが過剰な供給を生み、使われなくなった EV が大量に放置される「EV 墓場」を生んでしまいました。

これらの理由により、中国各地には使用されなくなった EV が大量に放置されている状況が生まれています。これは環境への配慮を目的とした EV 普及の皮肉な結果とも言えるでしょう。

日本の電気自動車 (EV) の普及率は？

まだ発展途上ですが、着実に増加しています。具体的な数字を見てみましょう。

普通乗用車の EV 普及率：2023 年 (1-12 月) における普通乗用車における EV の新車販売台数は約 4 万 4000 台で、新車販売台数の約 1.66% を占めています。ちなみに、同期間のプラグインハイブリッド車 (PHEV) のシェアは約 1.97% で、EV を超えています。

軽自動車の EV 普及率：2023 年 (1-12 月) における軽自動車における EV の新車販売台数は約 4 万 7000 台で、軽自動車の約 3.5% を占めています。特に日産の「サクラ」は、軽自動車の中で 15 位にランクインするほどの人気を博しています。

普通乗用車と軽自動車を合計した EV 普及率：2023 年における、普通乗用車と軽自動車を合計した EV 新車販売台数は約 9 万 1000 台で、新車販売のシェアは約 2.28% を占めています。

2024 年の動向：1、2 月における普通乗用車の EV のシェアは約 1.16%、軽自動車では約 3.32% となっています。2023 年度の国の EV 補助金が 2 月で一旦終了したことが影響していると考えられますが、新年度の EV 補助金の受付が再スタートする予定なので、販売台数は上向きになることが見込まれます。